

2002年6月発行
 発行人：堺 充廣
 発行所：神戸市中央区海岸通8
 神港ビルヂング5階509
 T E L : 078-393-0050
 F A X : 078-393-0051
 E-Mail : kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 U R L : <http://www.kobekeio.org/>
 編集：堀 友子・八巻 晤郎

『ご挨拶』

神戸慶應倶楽部会長 和田 憲昌

5月24日の通常総会で、神戸慶應倶楽部の会長に選出されました和田憲昌でございます。伝統ある倶楽部の会長として、その責務の重大さに身の引き締まる思いです。会員諸氏の絶大なご協力をお願い申し上げます。

さて、小生の自己紹介をさせていただきます。



昭和13年、神戸に生まれ、長田小学校・西代中学校・県立兵庫高校を経て、法学部法律学科を昭和37年に卒業いたしました。

30数年前に当倶楽部に入会、20数年前に突然幹事長に任命され、故濱根康男

会長のご指導のもと、7~8年間幹事長を勤めさせていただきました。その間、関西合同三田会を2回主管し、神戸より塾評議員をとの声で、評議員選挙に立候補されました濱根会長の選挙を2度お手伝いさせていただきました。

その頃、神戸で毎年開催されておりました旧制高校卒業生が主体となった“青春寮歌祭”への参加も今は楽しい思い出であります。考えれば日本の高度成長期に幹事長を経験させていただいたこととなります。

バブルが崩壊した後、私が生業といたしております不動産業も壊滅的な打撃を受け、途方にくれた状態でありました。この状況は同じ生業の塾出身者も同様ではないかと考え、3名の同志で打開策を探り、10年前に関西不動産三田会を

創設し、初代代表世話人に就任させていただきました。

この会も今は250名余の会員を擁する会に成長し、本年7月塾長をお招きし「創立10周年記念式典」を開催いたします。

この間、当倶楽部への参加が疎遠となり大変心苦しく思っております。

さて、上島前会長は在任中の5年間で組織の改革・運営手法の確立・財政の健全化を成し遂げられました。それを支えられました役員の皆様、とりわけ福井・芦原両幹事長に対し深甚なる敬意を表します。

上島前会長は、倶楽部は“心のオアシス”であるとおっしゃっています。現実の厳しい世界を耐え抜くための一服の清涼剤として倶楽部の存在価値は大いに意義のあるものと考えます。

しかし、逃避場所として倶楽部が存在しているのではありません。

倶楽部の存立する意義は、「心身の独立を全うし、自ら其の身を尊重して、人たるの品位を辱めざるもの、之を独立自尊の人と言う。」の集合体であります。

この独立自尊の同志が相集い、会員相互の知識を交換し、徳性を涵養し親睦を図る場が倶楽部であると考えます。

相互理解の第一歩として、親睦があります。親睦は手段であって目的ではありませんが、必要不可欠なものです。

独立自尊の精神をより涵養していただく為にも、倶楽部は相互理解を根底とした親睦の機能を持つ必要があります。そこで私は、運営方針を『やすらぎ』とさせていただきます。

退任のご挨拶

平成 14 年 5 月 24 日

前会長 上島康男

1997 年 6 月、前会長森隆様の任期半ばの辞任に伴い、はからずも伝統ある神戸慶應倶楽部の第 5 代会長に推挙されました。突然のご指名であり、かつ先輩の故里見副会長を差し置いて、就任するのは僭越と辞退しましたが、里見先輩より“会長はお前がやれ、サポートしてやる”とのお励ましのお言葉をいただき、お受けしました。以来、森様の任期の残り一年と、二期（一期 2 年）4 年の 5 年間会長を務めさせていただきましたが、後進に道を譲るべく本日任期満了を機に退任致しました。

私の就任以来の倶楽部運営の基本理念は、神戸慶應倶楽部を先輩後輩のへだてなく、家族を含む慶應社中のなごやかな親睦の集いの場とすることと、特にリタイヤーされた方々や、遠隔地からの転勤者や単身赴任の方々の心のオアシスにしたいということでした。そして出席していただいた方々には、何かを得ていただけるような企画をし、出席してよかった、楽しかったと思っていただける例会にすることでした。

私に課せられた会長としての命題は、懸案処理と倶楽部発展の基盤づくりにありとし、この在任の 5 年間に、70 周年記念誌の編纂（村上副会長、福井前幹事長他）、関西合同三田会神戸大会の開催（五代副会長、植田実行委員長他）、財政赤字の解消と会計システムの構築（芦原幹事長）、例会運営の一新や同好会活動の活性化による倶楽部の魅力 UP、広報システムの IT 化、ホームページ活用の会員増強、そして倶楽部室の移転等に鋭意微力乍ら尽力したつもりで、一応私の役目は果たしました。ただ、至らぬ点、多々あったことと存じますが、ご容赦下さい。

在任中残念だったのは多くの倶楽部に貢献された会員の方が亡くなられたことです。特に多くの会員から畏敬され、倶楽部の名物であるオークションの名エンタテナーの副会長里見様のご逝去は惜しみて余りあり、又副幹事長としてご活躍下さっていた中平君を失ったこともこれからを期待していただけに残念でなりません。

又 25 年の長きに互り倶楽部の事務局を一人で支

えてこられた林さんが 65 歳になられたのを機にご退職いただきました。古い会員の方々の反対もありましたが、林さんの永年に互るご功績は全会員の認めるところであり、惜しまれてのご引退でした。幸に後任に糸海さんと云うこれ又倶楽部の雰囲気になさわしい人を得て現在スムーズに事務をこなしていただけています。

倶楽部財政健全化の為とは云え、長年慣れ親しんできた朝日ビルから現在の神港ビルへの移転は断腸の思いでした。倶楽部室の移転は多くの思い出を残されていた会員の皆様には本当に申し訳なく、私の不徳の致す所で、心よりお詫び申し上げます。但し神港ビルは神戸でも由緒ある堂々たる雰囲気を持つビルで部屋も一回り大きくなり、50 名程度の講演会や同好会の会場にも十分使用出来ています。是非ご訪問下さい。

70 周年記念誌作成の時、過去の記録写真が少なかったので例会で写真をよく撮らせていただきました。最近では会員の方で写真を撮られる方も多くなったようでもう安心です。写真撮りの承継宜しく願います。

月刊 B R B については堀編集長他に毎月素晴らしい会報を発行、Eメールを活用してのメールマガジンの発信、又ホームページを充実していただくなど、神戸慶應倶楽部の三田会での評価も大変高くなっているのはこの方々のお蔭です。本当にご苦労様ですが、これからもご尽力下さい。

後輩の諸君へ一言……人間成長の過程で同じ有意義な話を聞いても、受け入れる側の“器”の大きさでその成果の個人差がつきます。今年の大学の入学式で“夢を持ち、志を持ち、自らを開いていけば自ずと感動が得られ、それは血となり肉となって必ずや人生の折々で力を与えてくれる”との安西塾長の訓示がありました。“感動教育の実践”です。大学がそうであれば、我々社会人にとって、巾広いコミュニティの慶應社中の集いへの参加は、自らの“器”を大きく成長させる絶好のチャンスです。倶楽部で一人でも多くの会員の方々と交流を深め、自らを開き、どんな小さなことにでも感動を得られる人になりましょう。即ち感動教育実践の継承です。その為にも毎月の例会に積極的に出席して下さい。

次期会長には副会長の和田憲昌君を推薦しまし

たところ、総会で承認されました。又、幹事長に堺充廣君が選任され、合わせて新役員も決まりました。ご同慶の至りです。新会長、新役員に対し、ご後援の程宜しく御願ひ申し上げます。

“トップが変われば組織は変わる”とされています。我が神戸慶應倶楽部も会長の交代によって、ここで更に充実した倶楽部に発展することを念じて止みません。

慶應連合三田会会長の服部禮次郎様が、愛には近親愛から、人類愛迄巾広くあるが、母校愛は丁度その中間にあると思う。母校を愛することが出来る人は、きっと巾広い愛の心を持てる人と思うと云われましたが、会長を退任しても母校をこよなく愛し続け、これからは各界で活躍されている慶應社中を支援していきたいと思っています。

故里見先輩をはじめ、村上、和田、五代副会長、福井前幹事長、芦原幹事長はじめ、役員の方々、会員の皆様、この5年間本当にご支援ご協力有難うございました。事務局の糸海様も本当にご苦労様でした。

このような素晴らしい慶應社中に包まれ会長職を全う出来たことの幸せを噛み締めています。又新会長に和田憲昌君と云う名リーダーを迎えられたので、安心して退任することが出来るのも幸せな限りで、心より御礼申し上げます。

これからは新会長の下、新役員の方々によってきっと新しい素晴らしい運営、企画があると思ひ期待しています。

和田新会長を初め新役員の方々与会員の皆様のご活躍とご健勝、合わせてご家族の皆様のご多幸と、倶楽部の今後益々の発展と隆昌を祈念申し上げます、退任の挨拶とします。

“神戸慶應倶楽部よ、永遠に栄あれ！！”

新幹事長挨拶

堺 充廣（昭53法）

芦原前幹事長の後を受け、幹事長という大役を仰せつかりました。昭和53年法学部法律学科卒業の堺充廣です。卓越した手腕を発揮された芦原幹事長の後任としては、いささか役不足ではないかと思いますが、微力ながら精一杯努め

させて頂きまますので、よろしく御願ひします。

さて神戸慶應倶楽部は、神戸市内若しくはその周辺に居住、勤務されている塾員を中心とした同窓会であり、その趣意は親睦にあります。ですから、会員の皆様1人1人がそれぞれの楽しみ方を持って参加していただけるような会であればならないと思います。

会から足が遠のくということは、会に魅力が薄れているからと理解します。私たちは、明るく、楽しく、アットホームで、和田会長の目指す「やすらぎ」を感じられる会とすべく努力していきたいと思っています。また本年度は、役員を中心としたトップダウン型の運営ではなく、会員の皆様を中心としたボトムアップ型の運営を目指します。例会や同好会への積極的な参加はもとより、会の運営や企画等にも、遠慮なく、積極的なご意見をいただけるよう、よろしく御願ひいたします。

幹事長交代の挨拶

芦原直哉（昭50経）

“踊る阿呆に見る阿呆 ……”阿波踊りではないが、何事もやる方が楽しいに決まっている。神戸慶應倶楽部もそうだ。会員登録だけより参加するほうが楽しい。参加するだけより企画するほうがもっと楽しい。

2年間、幹事長を仰せつかり最も楽しんだのは私だと思ふ。会員の皆さんが例会やイベントに参加されて「楽しかったよ」「勉強になったし良い企画だったよ」等と声をかけていただく、これほど嬉しいことは無い。例会で60名が参加されたら幹事長の喜びは参加者の60倍だと思っでいいだろう。同好会の幹事の皆さんも同じだと思ふ。この喜びは皆で分かち合わなければならない。幹事は交代でなるべく多くの方が一度は経験し、その喜びを味わっていただきたい。ある時は幹事、ある時は参加者、お互いに楽しみを分かち合うのだ。もちろん苦労もある。苦

労があるから喜びも大きいのだ。

至福の2年間を与えていただいた会員の皆様に深謝するとともに新幹事、そして会員の皆様の喜びが更に増えることを信じている。

～総会および懇親会レポート～

大沢弘一（昭52政）

2002年通常総会が、5月24日刈ヶ窪・ククリン外村で54名の出席のもとに開催されました。

まず総会に先駆け、ストレスカウンセリングセンター所長前川哲治氏による「閉じこもり」の問題点というテーマで講演があり、現代社会の問題となっている「ひきこもり」についてお話していただきました。「ひきこもり」は、中年の父親が持っている競争心や物欲中心などの価値観の子供への押し付けに対する抗議でもあり、子供に対してもっと耳を傾けるべきで、特に中年父親の意識改革が必要との指摘には、改めて親として子供への接し方の難しさを認識した講演になりました。

講演が終わり2002年の通常総会となり、冒頭参加者全員が塾歌斉唱をした後、上島会長の議事進行のもと芦原幹事長より、重点課題であった「神戸慶應倶楽部の構造改革」の実績や同好会活動の内容についての事業報告、決算議案などの説明があり、無事承認されました。さらに、上島会長と芦原幹事長が退任されることになり、新たに会長に和田新会長が、また幹事長には堺新幹事長とする役員改選の議案も承認され、新たな体制でのスタートとなりました。

総会後の懇親会では、参加者全員が各テーブル毎に運ばれた美味しい料理と会場からのすばらしい夜景を堪能しながら、新幹事の決意表明などが行われ、最後には今回幹事になった松尾新幹事による応援指導部のセーターを着用してのコンバットマーチまで飛び出し、幹事としての強烈なデビューを飾るとともに、新たに副幹事長となったミスター・オークション、ウッチーこと内山新副幹事長のいつもの元気いっぱいの『若き血』でお開きとなりました。

同好会だより

出口英雄（昭37工）

5月の第2土曜日（11日）は第2回写生会。梅地先生以下 会員10名が新緑の森林植物園へと繰り出した。前日までの天気予報では雨の公算大であったが会員の熱意が雨雲を南に押しやってしまったようだ。紫と白のかきつばた



見て！豪華なお弁当！
美味しそうでしょう？

が美しい長谷池の周りで、それぞれ思い思いの場所に陣取って絵筆を走らせた。昼食は五代師範代の意を汲んで、特別に作っていただいた淡路屋さん特製の豪華お弁当（寺本さん有難う御座いました。次回もよろしく！）を 楽しんで、午後からも更に1枚と創作に取り組んだ。

先生の講評では、各自の作品の良い点、工夫すべき点を的確に指摘して頂き、また先生と五代師範代の素晴らしい作品と見比べて、まだまだと感じながらも、先生からは、「皆さん着実に腕が上がってきています。」との嬉しい評価も頂いて、また次の秋の写生会が楽しみになりました。



梅地先生の講評

ゴルフ同好会 ～コンペのご案内～

7月12日（金） オリエンタルゴルフ倶楽部

今回は倶楽部仲間だけの和気藹々としたコンペですので、皆さまお気軽にご参加ください。

ご希望によりセルフまたはキャデイ付きといたします。また、女子プロまたは研修生と同伴されたい方はお申し出ください。賞品は、参加者一品持ちよりでお願いします。その他ゴルフ場から賞品を用意します。詳しくは、事務局または近藤正会員まで。

会員だより

「奇妙な日本語」

榎尾観蔵（昭38法）

小生も歳をとったせい、最近の音楽や服装の流行り、言葉づかいの風潮についていけなくなりつつあるようだ。その中でも、昨今のマスコミや若者の話しコトバでよく耳にする「奇妙な日本語」について、クラブのみなさんにご意見を伺う次第。

以下の例は、最近読んだ中国語学者・高島俊男氏のエッセイからの借用です。

<じゃないですか> 最近よく聞く表現だが、何かおしつげがましく聞こえませんか？

<あげる> 自分の子供におもちゃをあげる！？ は敬語としておかしい。ヤルといえがいい。

<いやす、またはいやし>、またよく似た表現で<ふれあい>、<いのちとくらし>、<（地球に）やさしい>などの安易な使用に抵抗感があります。おなじく<元気をもらう>なども流行りのようですね。

その他でも嫌いなのが、<～の方（ほう）>を乱発するくせや何でも短縮する日英チャンポンの略語など、日本語の乱れが気になってしかたがない昨今です。

みなさんは、如何お考えでしょうか？

新米パパ奮闘記～1歳を過ぎて

尾藤唯之（平4理工修）

早いもので昨年3月に生まれた長女唯子（ユイコ）も1歳となりました。最近歩き始め、



目に入れても痛くない？
ユイコちゃんに、もうメロメロ

目が離せません。先日もパパとの散歩の時、少し歩きたがるので下におろすと、トコトコとコンビニの中に入っ

て行ってパンをつかんでしまいました。しかたなく買う羽目に・・・あとでおいしそうに食べていました。こんな調子なら二十歳くらいになったとき娘にせがまれるまま、洋服などをドンドン買ってしまおう甘いお父さんになるかなと今から心配しました。そのころは一緒にお散歩に行ってくれないかな？

こんな元気いっばいの娘ですが今年のGWに突発性発疹で39.5度の高熱を出しました。はじめのことだけに妻と二人おろおろしていました。でも本人は発熱にもかかわらず元気に走り回り、お医者様は平気だと言ったのが心強かったです。1週間ほどで完治し今は元気になりました。



神戸まつりは阿波踊りでススメ！

芳川玲子（昭41文）

前夜、襦袢に半襟を懸け、足袋にアイロンをあてる。幼い頃は母が夜なべで祭り衣装を縫ってくれた。お祭り好きは今も変わらない。

「明日は晴れるかしら」と独り言。

去年神戸まつりは7月の炎天下、踊るアホウモウンザリしたが観るアホウも少なかった。

一昨年は連の後ろにバリバリのサンバチームが続き、老いも若きも男衆の目は日本の伝統芸能を素通りした。

3年前は懸命に笛を吹く姿がテレビに映り、友人は感動で涙し、家人に怪しまれた・・・と言う。

4年前初めて本場徳島に行き、踊りの渦に踏み込む。

5年前に物珍しさから連に参加。

「明日は午後からお天気ですって」と、テレビを観ていた娘の声。ふと我に返って顔を見やる。冷やかしの表情の奥に慈しみの色がある。いつから娘に労わられるようになったのだろう。

衣装をたたみカバンに詰めポンと両手で叩く。

「よし、準備完了」

明日は神戸祭り。



会員の輪

梶田裕嗣会員より

柏木進人(昭 52 商)

ダイエット法(!?)教えます！

不覚にも4年前にアキレス腱を断裂してしまつた。バスケの試合中である。加齢、禁煙、運動不足、生活習慣など原因は考えられる。12kgの体重増である。リハビリを兼ねて、トレーニングを始めた。

現在のトレーニングは、体を胸・背中・下半身の3部分に分け週5日のメニューである。

ストレッチの後、有酸素運動(エアロバイク・トレッドミルなど)を35分。たっぴりと汗をかいているのでTシャツを着替えて、筋トレ。

胸の日は、ベンチプレスから始めてダンベルで大胸筋と三角筋(肩)を攻める。ついでに腕裏(上腕三頭筋)も痛めつける。

背中の方は、マシンを使って広背筋を、そしてダンベルで腕の前(上腕二頭筋)を攻める。

下半身の方は、スクワットから始めて太股、ふらはぎを鍛える。

筋トレの仕上げは、腹筋・背筋。(これは毎回)最後にプールで、個人メドレーを泳ぐ。サウナ、シャワー。約2時間半のコース。前後にプロテイン、アミノ酸補給。筋肉は、回復時に肥大するので十分な休息と栄養補給を。(超回復)

現在ピーク時より12kg体重減。ウエスト8センチ減。BMI指数21.3。確実にドライバーの飛距離が伸びました。ゴルファーは背中と下半身を鍛えて、胸と腕はほどほどに。

これだけやれば、食事制限なしで充分痩せます。でもこれってダイエット!?

次は、竹谷康弘君(昭 57 商)にお願いします。

今月の絵



(絵画同好会：木全良治)

山崎えみ会員より

堀越啓子(昭 62 文)

ヘンカクの時

20世紀の諸問題を残したまま、21世紀を迎えている。国は、今の成熟社会に相応しい地域構造に、分権システムに変えて行かなければ機能しない。企業においては、ピラミッド組織から解き放され、自立していく個人、個人を生かす「21世紀型組織」が模索されている。

(www.nhk.or.jp/henkaku) 又、高齢化社会を抜きにして、21世紀も、日本経済も語れない。「寝たきり痴呆」は、“隣は何をする人ぞ”という都市住民の多くが、社会的に孤立し、閉じこもる生活を続けて来たからだ。その予防策も含めこれからは、地域即ち町内の人達との関係が、重要な鍵を握っている。エコマネー(地域通貨)等で若者と新老人が、助け合っていく事も必要だ。

従来の若者中心社会から、高齢化社会に相応しい制度に作り直す構造改革が望まれる。地域社会の空洞化に対し、例えば新たに医療、介護、看護を1つのサービス産業として、新しい経済のしくみを作り、地域起こし、町づくりをやっていく。

しかし、これらの根本は、“個”の確立、変革にある。「会社人間」から「社会人間」に、町内から世界の人々と、自然と共存しながら21世紀こそ、心から幸せを実感できるように、皆さんがんばりませんか。

ノーベル受賞者の創造性の発想、ひらめきは、夜明け、目覚め、散歩の時、スーと浮かぶような。寝床にメモと鉛筆を。また、運命には、春夏秋冬がある。走りっぱなしだと息切れする。その時は、次に備えて小休止を。

次号は、山登りがお好きな荒木重典さん(昭 50 法)にお願いします。

～ 6 月度例会のご案内～

日時：6月14日（金） 19：00～21：45

場所：神戸ポートピアホテル

南館 16F レインボー・ルーム

第 1 部：講演会および演奏会 19：00～20：00

「モーツァルトの楽しいオペラの世界」

関西オペラ界のすばらしいバリトン歌手、晴雅彦さんをお招きして、岸美香さん（昨年のサマーパーティで会場を魅了したあのソプラノの岸さん）とのお話を交えながら講演していただきます。

第 2 部：会務報告および懇親会 20：00～21：45

神戸港から六甲連山に広がる大夜景を眺めながら、お料理とおしゃべりでお楽しみいただきます。

参加費：9000 円

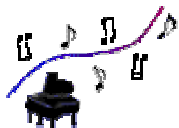
（但し卒業後 10 年未満及び女性は 6000 円）

昨年に引き続き関西不動産三田会と合同で行います。関西婦人三田会は今回はオブザーバー参加ですが会員には案内しております。

講師紹介：晴 雅彦氏略歴

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。

1997 年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。ヨーロッパオペラ界には 1996 年にデビュー。ドイツを中心に各地で公演し好評を得ている。現在、関西二期会会員、堺シティオペラ会員、日本演奏連盟会員。



今後の行事予定

2002 年度行事予定表を別紙で添付しておりますので、保存版として保管願います。

日程の変更・追加については、その都度 BRB 誌上またはメールマガジン等でお知らせいたしますので、毎月ご確認願います。



こんなコーナーを設けました。
皆さんの掲示板です。

自由に、ご利用ください。

実は私、見かけによらず（いえいえ見かけどおりですよ？）宝塚ファンなんです。（堀）
……こんな具合に、一言お寄せください。

同好会について（幹事にお問い合わせください）

PC 同好会：市川義人

囲碁同好会：林 邦一

絵画同好会：八巻晤郎

KKJC（神戸慶應ジャズクラブ）：内山景介

ゴルフ同好会：近藤 正

テニス同好会：茂木立仁

BRB のメール配信について

今月の BRB は、総会特集ということで全会員に郵送しておりますが、通常は 160 余名の方がパソコンのメールで受領されております。これからも配信のスピードアップと通信費軽減のためメール化推進にご協力をお願いしたく、今後メールアドレス取得された方はアドレスを事務局までご連絡願います。来月号からは、同封の関西合同三田会会員名簿の確認票に記載された自宅のメールアドレスに送信する予定です。なお「アドレスは登録するが郵送希望」という方は確認票の余白に「郵送希望」と追記願います。



編集部よりお願い

月刊 BRB をより充実したものにするために、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

編集後記

○新年度に入り、BRB もマンネリ化を防ごうと、熟年コンビは思考錯誤しながら知恵を絞っております。この誌面が会員交流広場「やすらぎのオアシス」でありたいと願っています。（ほ）
○サッカーのワールドカップが開幕。プロの技術と意地がピッチで炸裂して見る人を唸らせ魅了する。彼らが生み出す素晴らしいゲームや興奮が身近にあると思うだけでも六月という月がわくわくしたものになりそうな感じです。（晤）